



とりせんと 2023

環境✕社会活動 レポート



【お問い合わせ】株式会社とりせん 営業企画部
〒374-8512 群馬県館林市下早川田町700番地
TEL.0276-74-2128 FAX.0276-74-0959
ホームページアドレス <https://www.torisen.co.jp>
株式会社とりせんは群馬県と「地域活性化包括連携協定」を締結しています。



このまちの笑顔をふやそう。
TORISEN

2023年環境・社会活動レポートをお手に取っていただき、ありがとうございます。

さて、当社は「誠実・信頼・努力」を社是として事業に取り組んで参りました。そして新たなスローガン『このまちの笑顔をややそう。』を掲げ、地域の笑顔を広げるスーパーマーケットを目指す取組みの一環として、「環境に優しい店づくり」を推進しております。

地球温暖化に代表される環境問題への取組みは、当社においても社会的責任の1つと位置付けております。省エネルギー機器の導入、食品残渣の堆肥化リサイクル、発泡スチロールやダンボールのリサイクル、資源物の店頭回収、マイバッグ運動など、商品の仕入れから販売に留まらず、消費、廃棄にいたるすべてのシーンで資源の再利用や環境負荷の低減に取り組んでおります。

また、環境活動と同様に社会的責任として実施している食育推進活動には、多くの親子に参加いただいております。当社では未来を担う子供たちをはじめ大人の方にも活動に参加していただき、正しい食生活の理解を通じて、心とからだの健康づくりに役立てて欲しいと願っております。

これらの活動を通じて、持続可能な社会を実現するため、ステークホルダーとともに現在行っているSDGsの取組みを深化させ、サステナブルなスーパーマーケットを目指してまいります。

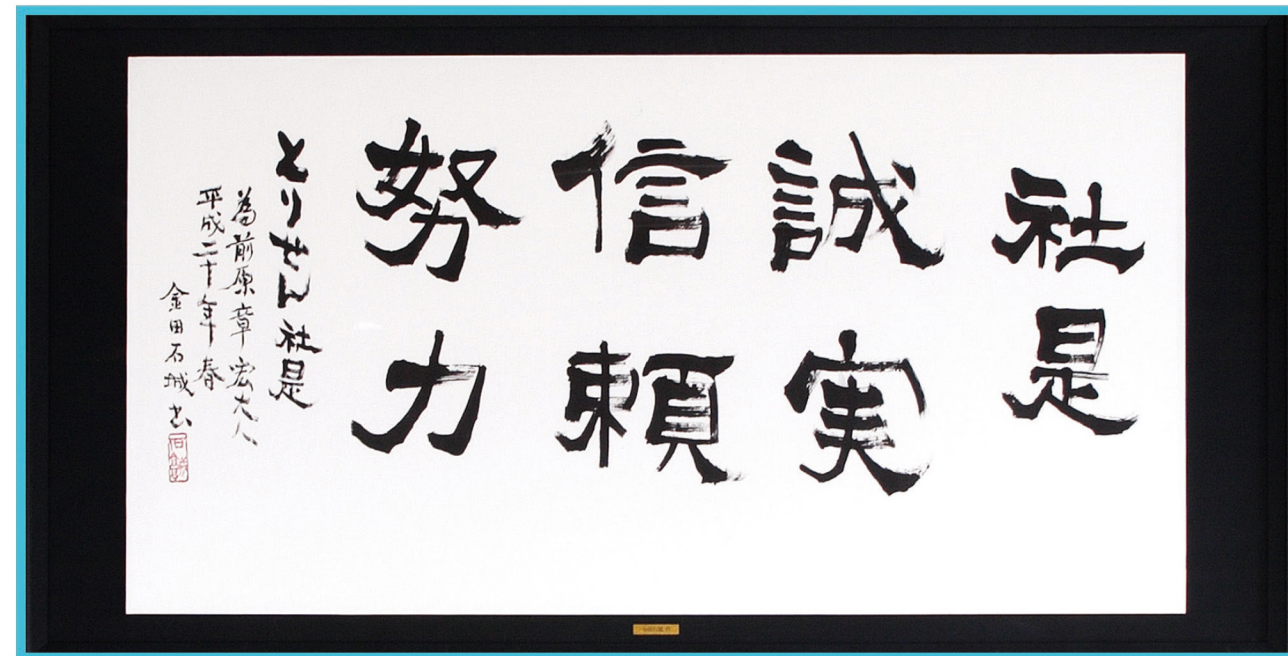
今年で22回目の発行となる「とりせん環境・社会活動レポート」を通じて、当社の思いを皆さまにお届けできれば幸いです。あわせて、ご感想やご助言等を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長
前原 章宏



代表取締役社長
前原 宏之



とりせん社是 書道家 金田石城先生作品

環境理念

私たちは、お客様の豊かな暮らしを創造するために、安全で良質な商品・サービスを提供し、ご満足頂くことが第一の役割と考えます。同時に、私たちを取り巻く環境問題についても、企業市民としてふさわしい責任と行動力を持って柔軟に対応し、地域のお客様とともに環境保全に努力し、住み良い街づくりに貢献いたします。

環境方針

1. 環境マネジメントシステムにより、企業活動における各分野の環境負荷低減のために定期的な見直しと継続的な改善を図ります。

- ① 環境に配慮した商品の開発と販売、普及に取り組めます。
- ② 省エネルギー、省資源を推進し環境に配慮した店舗づくりを行います。
- ③ 廃棄物を削減するために、3R(リデュース=発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再生利用)を推進します。
- ④ お客様とともに環境保全に努力し容器包装等の店頭回収とリサイクルに取り組めます。
- ⑤ 地球温暖化防止のため、上記施策を推進し、CO₂換算による売場面積、営業時間あたりのCO₂排出量削減に取り組めます。

2. 企業活動に関わる環境関連の適用可能な法的要求事項及び当社が受け入れを決めた要求事項を遵守します。

3. この方針を全従業員が周知・徹底し、企業や地域社会の中で、主体的に環境保全活動に取り組めます。

4. この方針を社内外に広く公表し、積極的な広報活動に努めます。

2008年11月17日 制定
株式会社とりせん

エコアクション21

とりせんは、エコアクション21の全事業所認証を更新しました。



SDGsぐんま ビジネスプラクティス

とりせんは、令和4年度SDGsぐんまビジネスプラクティスに選定されました。



安全で新鮮な食料品提供 次の100年に向けサステナブルなスーパーへ

1 食料を大切に 食べよう	2 新鮮な 野菜を せよ	3 すべての人に 健康と福祉を	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	6 安全な水とトイレ を世界中に	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を守ろう	15 陸の豊かさ を守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナリッ プで目標を達成しよう	SDGsの 取組みは こちらから



●このまちの笑顔をふやそう



●ノントレー売り場

プラスチックトレー削減のため設置しています。



●バックヤード管理

常に安全で新鮮な商品を提供するため、管理の行き届いた衛生的なバックヤードにて作業を行っています。



●バラ売り

バラ売りすることでトレー・ラップの使用量を減らしています。また、惣菜コーナーのバラ売りは新型コロナウイルス感染拡大抑制の目的で一時的に休止しています。(2023年3月)



●LED照明

電気使用量の削減を図っています。



●イートインスペース

衛生管理に注意してスペースを設けております。



●おもいやり駐車スペース

車椅子ご利用の方、妊婦やけが等歩行に差し障りのある方が利用しやすいスペースを設けております。



●タクシー乗り場

タクシー専用乗降スペースもあります。



●店頭リサイクル

牛乳パック・アルミ缶・スチール缶・ペットボトル・食品トレー・ダンボール・雑紙等の回収を行っています。



※ご利用可能時間は店舗ごとにより変わりますので詳しくは店頭にてご確認くださいませ。

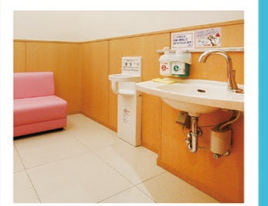
●AED

緊急時にはお使いいただけます。案内所付近にあります。



●授乳室

ソファで授乳ができます。おむつ交換台もあります。



●2人乗りカート

お子様2人が乗せられます。箱ものご購入にも便利です。



●宅配便ロッカー

お買物と一緒に宅配便を受け取れる便利なサービスです。コロナ禍の中需要の高まりにあわせて、PUDOステーション、アマゾンハブロッカーを導入しています。



●店頭給水サービス

専用ボトルにて無料でお持ち帰りいただけます。



※店舗によって導入されていないものもございます。

とりせんリサイクルステーション

とりせんアプリを使用してリサイクルポイントをためることが出来ます。リサイクルポイント500ポイントでとりせんアプリのポイントとして50ポイントが自動付与されます。
(ポイント対象は古紙回収機・ペットボトル圧縮機のみ)



アルミ缶・スチール缶・牛乳パック・食品トレー・ペットボトル・古紙等の回収に取り組んでいます。(店舗により回収品目が異なります。詳細はP25・26を参照ください。)



TORISEN リサイクルステーション ご利用案内

とりせんアプリを使って お得にリサイクル!

ポイントについて
古紙は1kgからペットボトルは1本から、ポイントになります!
重量で **10** ポイント / ペットボトル1本 **2** ポイント

リサイクルでためたポイントは、ご利用月の翌月15日までに500ポイント単位でとりせんアプリのポイントとして50ポイント自動付与されます。

ご利用いただけるアプリ
リサイクルでポイントがたまるのはとりせんアプリのみになります。

ダウンロードはこちら Google Play または App Store から「とりせん」で検索してください

回収できる古紙・ペットボトル

古紙・ダンボール
新聞・本・雑誌
新聞・チラシ・雑誌・本
ダンボールは必ずたたんでください。

ペットボトル
2リットル以下のPETボトル

回収できない古紙
* 食品や油汚れのついた紙類、油性インク印刷の紙類、厚紙、紙コップ、紙皿、紙容器、紙製容器、紙製容器の蓋、紙製容器の底、紙製容器の裏面、紙製容器の裏面、紙製容器の裏面、紙製容器の裏面

回収できないペットボトル
* 2リットル以上のPETボトル、PET以外の樹脂製のボトル、PET以外の樹脂製のボトル、PET以外の樹脂製のボトル

古紙回収機の使い方
1. とりせんアプリのバーコードをスキャン
2. 古紙を投入
3. [ポイントGET]ボタンをタッチしてポイント獲得!

ペットボトル自動回収機の使い方
1. とりせんアプリのバーコードをスキャン
2. ペットボトルを投入
3. 自動回収機を押ししてリサイクル完了!

リサイクルの流れ



ペットボトルのリサイクル

とりせんでは海洋プラスチック問題に取り組む、回収したペットボトルをペットボトルの水平リサイクル(ペットボトル→ペットボトル)、また各種繊維製品にリサイクルしています。



ペットボトルキャップのリサイクル

店頭にて回収したペットボトルキャップをリサイクルしてマイバスケットを配布させていただきました。

とりせんのマイバスケットは環境保全とリサイクルに取り組んでいます。

買利物カゴに使うプラスチックを **30%削減**

ペットボトルキャップ **97** 個使用

買利物カゴ 10個で、**1人分のワクチン**に

ペットボトルキャップバスケットの売り上げの一部は開発途上国へのワクチン供給への寄付となります

ワクチンをありがとう

この笑顔と未来のために、☎03-5419-1081
私たちは、世界の子どもにワクチンを贈る活動をしています。

世界の子どもにワクチンを 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)

牛乳パックのリサイクル

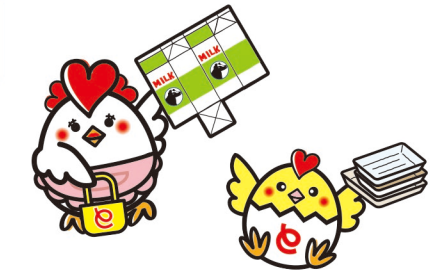


リサイクルステーションの数値実績

ペットボトル圧縮機の内部では、容積を約3分の1に圧縮し、トラックの回収効率を上げています。圧縮されたペットボトル(再生PET樹脂)は、協栄産業様を通じ、サントリー様など飲料メーカーのペットボトル原料に再利用されます。再生PET樹脂はPET樹脂を原油から作る場合と比較し、CO₂排出量を約63%削減できます。

食品トレー回収量の推移 (過去5年)(kg)		牛乳パック回収量の推移 (過去5年)(kg)		アルミ・スチール缶回収量の推移 (過去5年)(kg)	
2018年	31,413	2018年	59,020	2018年	123,852
2019年	32,253	2019年	63,010	2019年	139,823
2020年	26,323	2020年	61,430	2020年	204,110
2021年	25,261	2021年	63,593	2021年	187,404
2022年	26,208	2022年	67,370	2022年	193,983

ペットボトル回収本数 (本)		古紙回収重量 (kg)	
2018年	18,103,642	2018年	3,896,531
2019年	18,762,350	2019年	3,771,733
2020年	18,550,266	2020年	3,764,274
2021年	19,671,203	2021年	3,673,905
2022年	18,862,049	2022年	3,223,188

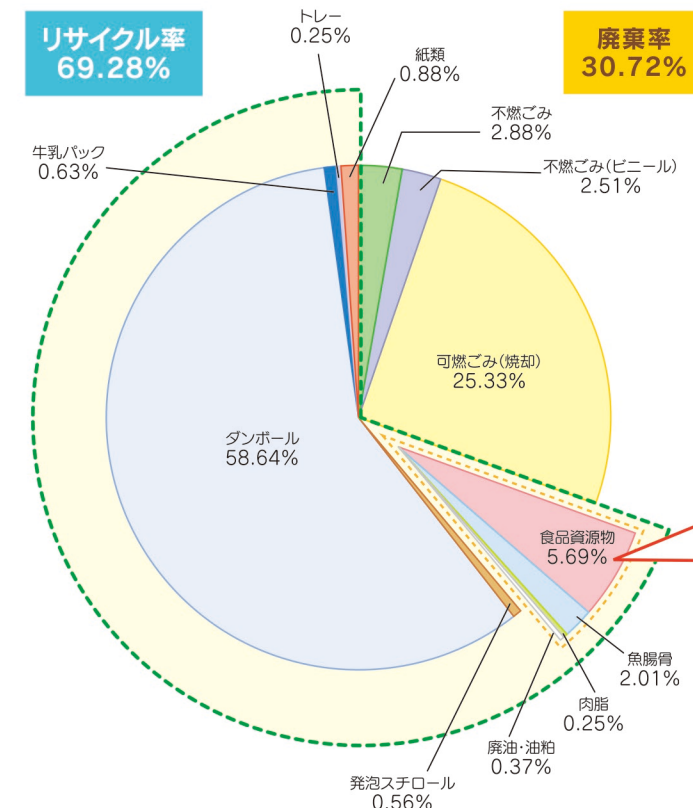


アルミ缶のリサイクル

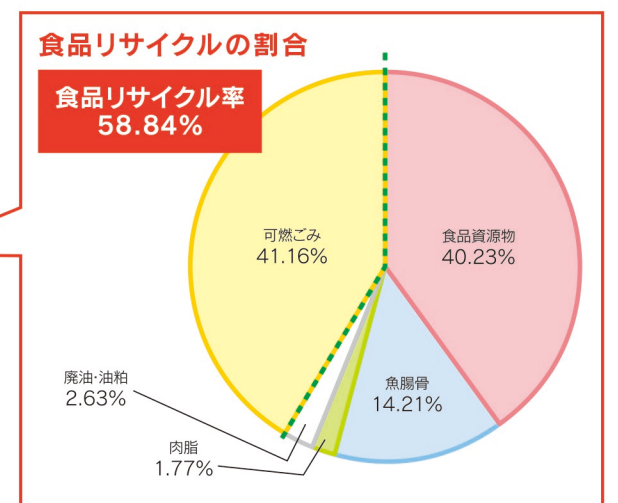


廃棄物のリサイクル率

店舗から排出される廃棄物はこれまで焼却か埋め立て処分が普通でしたが、リサイクルし再資源化できる物も少なくありません。とりせんでは廃棄物の削減の為に作り過ぎや売れ残りを減らす商品管理をするとともに、生ゴミの堆肥化や肉脂・魚腸骨・食用油などの再資源化に取り組んでいます。



廃棄物の種類	重量 (t)	割合 (%)
不燃ごみ	306.7t	2.88%
不燃ごみ(ビニール)	267.4t	2.51%
可燃ごみ(焼却)	2,699.1t	25.33%
廃棄物小計	3,273.2t	30.72%
食品資源物	606.8t	5.69%
魚腸骨	214.3t	2.01%
肉脂	26.7t	0.25%
廃油・油粕	39.6t	0.37%
発泡スチロール	59.8t	0.56%
ダンボール	6,248.8t	58.64%
牛乳パック	67.3t	0.63%
トレー	26.2t	0.25%
紙類	93.7t	0.88%
リサイクル小計	7,383.2t	69.28%
合計	10,656.4t	100%



廃食用油

家庭から出る使用済みの食用油・賞味期限切れの食用油を回収しています。回収された食用油はバイオディーゼル燃料に精製されて再利用されています。

- 実施店舗 (2023年4月現在)**
- 宇都宮市(細谷店・宝木店)
 - 小山市(羽川店・小山東店・美しが丘店)
 - 足利市(助戸店・葉鹿店)・土浦市(木田余店)



ダンボールのリサイクル



食品資源物のリサイクル



発泡スチロール
とりせん資源化センターに集め、減容機にて「成形インゴット」と呼ばれる再生原料にして、海外へ輸出され、商品化されます。

魚腸骨
「魚のあら」のみを専用の容器に入れておき、専門のリサイクル工場へ集められます。ここで魚粉・魚油となり、飼料やマーガリンなどに生まれ変わります。

食用廃油
「使用済み油」のみを専用の容器に入れておき、専門のリサイクル工場へ集められます。ここで揚げカスは肥料工場へ運ばれて肥料に生まれ変わり、油は工業用油脂工場や飼料工場へ運ばれて生まれ変わります。

プラスチック
破損したプラスチック類はまとめて素材ごとに再選別され、プラスチックパレット(商品輸送器具)等に生まれ変わります。



カーボンニュートラル政策推進に基づいて環境負荷軽減に取り組んで営業を行ってまいりました。

太陽光パネル

2022年度は7店舗(氏家店・北本店・大原店・箕郷店・大沢店・群馬町店・栃木店)に太陽光パネルを設置し、本社を含めて18店舗となりました。2023年度は7店舗を計画しています。



店舗 (パワーコンディショナー)

環境負荷軽減工事

地球にやさしい環境への取組みのひとつとして、冷蔵設備・空調設備で使用しているオゾン層を破壊するといわれる「特定フロン」からオゾン層を破壊しない「代替フロン」へ更新しています。2013年から取り組み、2020年度までに33店舗の更新を完了しています。空調設備更新は2022年度に2店舗(岩井店・平和町店)を実施しました。2023年度は更新を1店舗、空調制御の試験運用を2店舗計画しています。

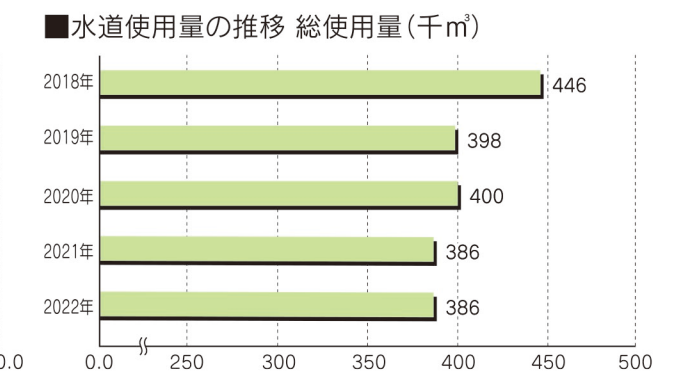
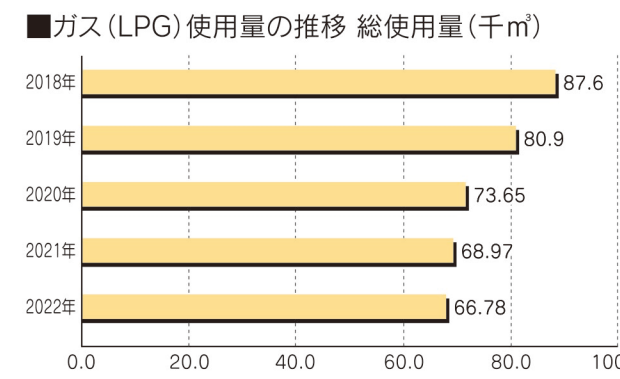
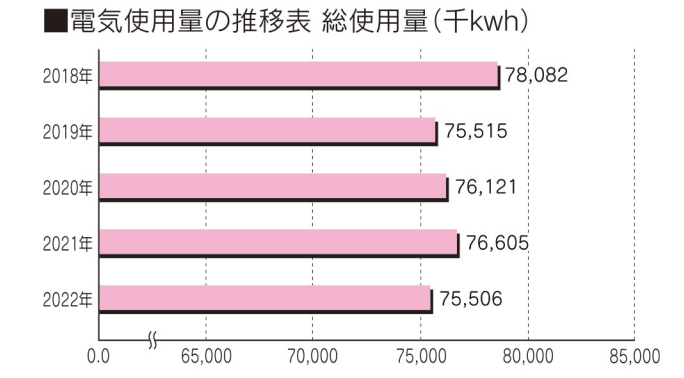


エネルギー使用量の削減

2022年度は節水コマを8店舗設置して水道使用量の削減をはかりました。電気・ガス・水道使用量の推移は下記の通りとなります。また、2023年度店内LED照明の更新を12店舗で計画しています。



電気の見える化



食品ロス削減チャレンジ

- ◆「ゼロウェイスト(廃棄物の発生抑制)」推進により、店舗の廃棄物削減に取り組めます。
- ◆少量の使い切り売り場の導入
- ◆保存に便利な冷凍切り身等の売り場拡大
- ◆お客様の意識と行動変容を促す取組み



催事における予約販売の強化

予約販売を推進し、無駄の出ない販売に努めています。

堆肥化へリサイクル

やむを得ず発生した廃棄物も分別し、堆肥化することでリサイクルへ

プラごみ削減チャレンジ

- ◆2022年4月1日から施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づいて、プラごみ削減にチャレンジします。
- ◆ノントレー売り場導入店舗の拡大
- ◆過剰包装の削減:バラ売りできるものはバラ売り、過剰なプラフィルムの削減
- ◆リサイクル商品・環境配慮型商品売り場の導入



プラスチック製品の使用削減

2022年4月より店内で販売しているお弁当等に使用する先割れスプーンをバイオマスプラスチックを40%配合した環境配慮型設計のものに変更しました。お客様への周知と意思確認のため、レジにて使用合理化促進のためPOPで表示をしました。また、プラスチック製のストローについては2022年4月に無料配布を中止しました。

とりせんの衛生管理

バックヤードでは

微酸性電解水生成装置(ミュークリーン)を導入。調理器具の洗浄後に、すすぎと同時に除菌を行えるようになり、2次汚染のリスクを軽減しています。一般的な電解水にくらべて低刺激性のため、手荒れの原因にもなりにくく、従業員も安心して使用できます。



常に安全で新鮮な商品を提供するため、作業中もアルコール製剤を使用し、衛生管理を徹底しています。



お客様とは

マイバスケット・マイバッグの使用推奨

とりせんでは、2021年7月よりレジ袋の無料配布を中止、販売させていただくレジ袋はバイオマスプラスチックを配合した環境配慮型設計のものとしています。マイバスケットについては、2006年8月よりマイバスケットの販売を開始しました。2023年2月までに**307,811個**を販売し、利用いただいております。マイバスケット、マイバッグ利用の普及によりお客様の持参率は**74.34%**となっています。その他、店頭で回収したペットボトルキャップを原料にした環境にやさしいマイバスケットを**12,000個**配布しました。

マイバスケット利用個数
319,811個



物流面では

とりせん専用コンテナ・クレート

お店に届く商品の納品形態をダンボールから統一クレートへと変更し、繰り返し使用しています。これによりダンボール使用量の削減を図っています。また、統一クレート使用により、トラックの積載効率の向上、店内作業の効率化にもつなげています。破損したものは本社にて資源物として回収し、様々なプラスチック製品の原料として再利用しています。

コンテナボックス年間使用枚数
1,443,191枚

(ダンボール削減量721.6t)
※ダンボール1枚当り500g換算

「とりせんアプリ」「とりせんカード」「セルフレジ」

とりせんアプリ

とりせんアプリは、スマホひとつでお買物を実現するスマートフォンアプリです。アプリに「とりせんカード」をご登録いただくと、カードがなくても、お買物でポイントをためたり、とりせん電子マネーや現金でお支払いすることができます。アプリ限定の「クーポン」や「お誕生日月特典」・「スタンプ特典」などお得な特典もたくさんある、とっても便利なアプリです。ペットボトル、古紙を店頭の回収機に出していただくことで、リサイクルポイントもためられるようになりました(2023年2月現在で45店舗に設置)



とりせんカード

「TORISEN CARD」は、とりせんをご利用いただける電子マネー機能付ポイントカードです。スマートでスピーディーなお支払いができ、さらに電子マネーや現金のお支払いでポイントもたまりやすくなります。ボーナスポイント対象商品を購入するとさらにポイントがたまってとってもお得なカードです。



セルフレジ

お客様自身でチェックアウトできるセルフレジを導入しています。現金はもちろん、とりせんカード・クレジットカード・バーコード決済でもご精算できます。



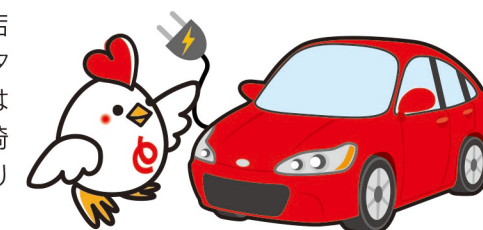
デジタルサイネージ

店内各所において、TORISEN TVを放送中です。季節のおすすめ情報他、お買得商品、とりせん自慢のおすすめ商品等、ビジュアルと音でお買物のお役立ち情報満載です。



電気自動車充電スタンド

電気自動車の普及に伴い、3店舗で電気自動車の急速充電スタンドを設置しています。群馬県は邑楽町店、栃木県は細谷店、埼玉県は北本店に設置をしております。



環境負荷軽減商品の販売

原材料に再生品を使用したリサイクル商品をはじめ、環境負荷が低く、様々な環境配慮型設計の商品を積極的に取り扱っています。お客様にご利用いただくことで、環境負荷軽減をお客様とともに進めることが出来ると思われ販売させていただいております。是非一度ご利用くださいませ。

リサイクル商品
回収された古紙が原料に含まれます。



無公害商品
無添加商品やダイオキシン発生の恐れのある塩化ビニールを含んでいません。



詰め替え商品
詰め替えタイプを販売することによりゴミを減らします。



さとうきび繊維を使用した、「土に還る紙食器」



砂糖の生産工程で出た「さとうきび繊維」を有効利用してきた、さとうきびパルプ100%の紙食器です。

土に還る紙食器
BAGASSE MOULD さとうきび

自然に優しい3つのポイント

- 植物由来の原材料から製造されているので、生分解可能です。
- 紙に耐水耐油加工し、合成樹脂を使用していません。
- 砂糖の生産工程で出た、さとうきび繊維を使用しています。

製糖工場では、さとうきびから砂糖を精製する過程で大量の搾りかすが出ます。そこから繊維分を抽出してできたものが「さとうきび繊維」です。さとうきび繊維は、環境にやさしく、経済的な紙原料として注目されています。

未晒しペーパー
環境に配慮した無漂白紙を使用。ナチュラルな風合いが特長の「自然にやさしいペーパーウェア」シリーズです。

※一部取扱いのない店舗もございます。

お客様のからだにやさしい商品

お買物していただくお客様の健康に配慮した商品も多数取り揃えております。あわせてご利用くださいませ。

適塩増酢

適塩増酢とは？
とりせんの「適塩増酢」シリーズは、素材本来の味を引き出すために塩分に配慮しながら、さらに美味しくにこだわった商品です。

健康長寿の3つの柱

- 運動** 身体機能や体力の維持
- 栄養** 食事バランス、口腔機能
- 社会参加** 人とのつながり、生活の広がり、前向きな気持ち

ぱくぱくたんぱく

とりせんの「ぱくぱくたんぱく」シリーズは、必要なたんぱく質を効率よく摂取でき、カラダづくりを応援する商品です。


整活習慣

とりせんの「整活習慣」シリーズは、カラダをまもる素材を加え、おいしさそのままに健康力をサポートすることにこだわった商品です。

2022年度は新型コロナウイルスの影響により、いくつかのイベントを実施することが出来ませんでした。例年下記のとおり活動をしています。


3 March **とりせん「本場山形」チャリティー芋煮会**

館林城ゆめひろばを会場に「本場山形」チャリティー芋煮会を開催しています。3個の大鍋で作られた本場山形芋煮を1,500食振舞っています。会場では民舞「せんすい会」・八木節「赤羽八木節保存会」のみなさんや山形大学花笠サークル「四面楚歌」による花笠踊りのほか、館林消防署による「地震体験車」のコーナー、パトカー・白バイとの記念撮影、Menkoiガールズ書道パフォーマンスなどで大いに盛り上がっています。当日お預かりした募金は東日本大震災の被災地復興にお役にいただくために、義援金として日本赤十字社に寄付しています。




5 May **「清水国明が選ぶ! わが家のアウトドアクッキングコンテスト」**

芸能界きつてのアウトドア、自然環境派・スローライフの実践者としても知られる「清水国明さん」をお招きし、とりせん御利用のお客様に「わが家のアウトドアクッキング」を作っていただくコンテストを大平店屋上駐車場で開催しています。毎年、清水国明さんの絶妙なアドバイスもあり、終始アットホームなムードでコンテストは行われています。




7 July **館林まつり**

とりせん発祥の地・館林の夏の恒例イベント「館林まつり」に参加しています。とりせんキャラクター・ハートリンのアドバルーンとうなぎのほりを掲げながらのパレードや風船、うちわのプレゼントなど、楽しいお祭りを通して、地域の皆様との親睦を深めています。



9 September **「とりせん」店舗前に白バイ・パトカーがお目見え!**

秋の全国交通安全運動支援として、店頭にてパンフレットの配布や白バイ・パトカーとの記念撮影会を実施しています。たくさんの親子連れが普段は触れることのない白バイ・パトカーと一緒に記念撮影し、改めて交通安全の意識を高めています。




10 October **「とりせんS&B杯ちびっこ健康マラソン大会&とりせん健康ウォーク」**

佐野市や太田市の運動公園陸上競技場及び特設コースに於いて、「とりせんS&B杯ちびっこ健康マラソン大会」並びに「とりせん健康ウォーク」を開催しています。ちびっこ健康マラソンは、小学校1~6年生、健康ウォークは小学校4年生以上の健康な男女・個人参加・家族参加・グループ参加が参加し盛大に行われています。各店舗で募金いただいた金額とラン&ウォークの参加費は、大会終了後に群馬よみうりを通じて、読売「愛のあかき基金」に全額寄付しています。

「とりせんわが家の秘伝鍋コンテスト」

料理愛好家として活躍されている「平野レミさん」をお招きし、とりせん御利用のお客様に「わが家の秘伝鍋料理」を作っていただくコンテストを大泉店2階特設会場で行っています。毎年、たくさんの応募があり、最終選考で選ばれた10名の中から、最優秀賞1名、優秀賞2名を選考しています。平野レミさんの楽しいトークやアドバイスもあり毎年和やかなムードでコンテストは行われています。



「とりせん・ハウス食品共同企画バーモントファミリーウォーク群馬大会」

ハウス食品との共同企画としてバーモントファミリーウォーク群馬大会を開催しています。ファミリーウォークは館林市役所そば、陽だまりの広場を出発し、つつじ橋と館林駅で折り返す、自然豊かなコース(約10km)を約3時間半かけてウォーキングを行っています。ウォーキングを通じて健康維持と同時に家族や仲間達とのコミュニケーションアップを図っています。

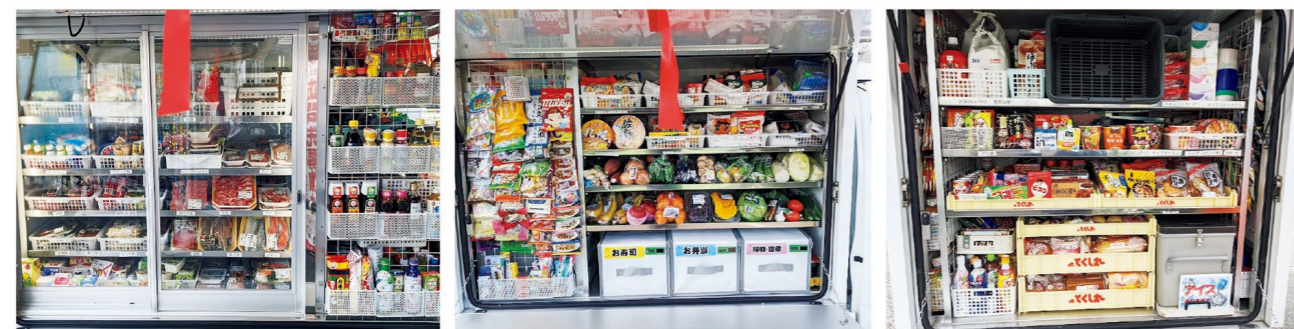
ラストワンマイル戦略として2021年3月よりスタートした移動スーパー「とくし丸」。地域の自治体・警察署と連携しながら拡大しています。

とくし丸の目的は3つ

- 1:命を守る(買物難民支援+見守り協力隊)
- 2:食を守る(地域スーパーとしての役割を果たす)
- 3:職を創る(社会貢献型の仕事を創出)

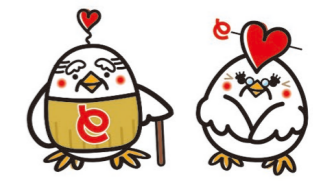


祝開業 2022年度	11号車	3月15日(火)	栃木店	15号車	9月20日(火)	成島店
	12号車	4月15日(金)	氏家店	16号車	10月18日(火)	葉鹿店
	13号車	5月17日(火)	邑楽町店	17号車	11月30日(水)	菅谷店
	14号車	6月23日(木)	宝木店	18号車	12月13日(火)	群馬町店
				2023年		
				19号車	1月26日(木)	藤岡店



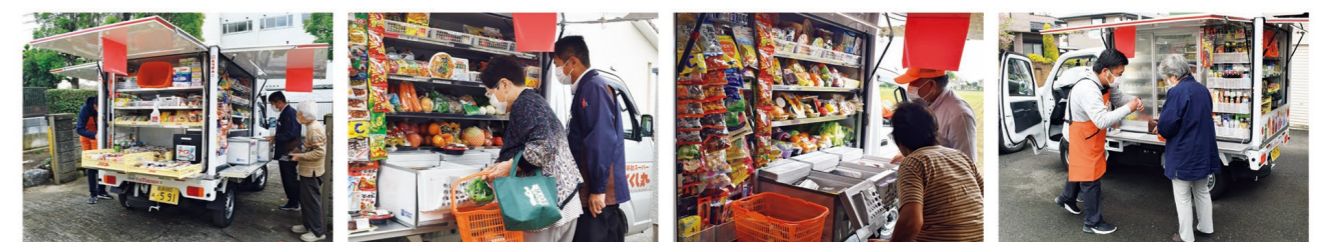
▲約400品1200品目を載せています。ご注文もお受けいたします。

当社ととくし丸は自治体や警察署と見守り協定を締結しています。



号車	拠点	県	開業日	行政、警察	名称
1号車	黒磯店	栃木	2021年3月9日	那須塩原市 那須塩原警察署	認知症高齢者等SOSネットワーク事業 高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書
2号車	北本店	埼玉	2021年3月25日	北本市役所 鴻巣警察署	北本市高齢者等見守りネットワークに関する覚書 地域の見守り活動に関する協定
3号車	大間々店	群馬	2021年4月20日	群馬県警察本部	地域見守り活動に関する協定書
4号車	大原店	群馬	2021年5月25日	群馬県警察本部	地域見守り活動に関する協定書
5号車	高根沢店	栃木	2021年6月22日	高根沢町役場 さくら警察署 芳賀町役場	高根沢町地域見守りネットワーク事業 高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書 芳賀町見守りネットワーク事業
6号車	富士見町店	群馬	2021年8月27日	館林市役所 群馬県警察本部	地方創生に係る包括連携協定の一部適用 地域見守り活動に関する協定書
7号車	城西の杜店	群馬	2021年9月22日	群馬県警察本部	地域見守り活動に関する協定書
8号車	下妻店	茨城	2021年10月8日	土浦市役所	要援護者見守り活動等協力に関する協定書
9号車	茂呂店	群馬	2021年10月20日	伊勢崎市役所 群馬県警察本部	地域見守り活動に関する協定書 地域見守り活動に関する協定書
10号車	渋川店	群馬	2021年11月18日	渋川市役所 群馬県警察本部	高齢者等あんしん見守りネットワークの協力に関する協定書 地域見守り活動に関する協定書
11号車	栃木店	栃木	2022年3月15日	栃木市役所 栃木警察署	栃木市地域見守り事業に関する協定書 高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書
12号車	氏家店	栃木	2022年4月15日	さくら市役所 さくら警察署	さくら市地域見守り活動に関する協定書 高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書
13号車	邑楽町店	群馬	2022年5月17日	邑楽町役場 群馬県警察本部	邑楽町地域見守り事業に関する協定書 地域見守り活動に関する協定書
14号車	宝木店	栃木	2022年6月23日	宇都宮中央警察署	高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書
15号車	成島店	群馬	2022年9月20日	館林市役所 群馬県警察本部 千代田町役場	地方創生に係る包括連携協定の一部適用 地域見守り活動に関する協定書 高齢者等の支援に係る地域づくり協定書
16号車	葉鹿店	栃木	2022年10月18日	足利市役所 足利警察署	高齢者見守り事業 足利つながるネット協力に関する協定 高齢者・障がい者等の見守り活動に関する協定書
17号車	菅谷店	群馬	2022年11月30日	群馬県警察本部	地域見守り活動に関する協定書
18号車	群馬町店	群馬	2022年12月13日	群馬県警察本部	地域見守り活動に関する協定書
19号車	藤岡店	栃木	2023年1月26日	板倉町役場	板倉町地域見守り活動に関する協定書

とくし丸は個人の自宅を始め、高齢者施設や団地・公民館など担当の移動範囲であればお客様のご要望にお応えします。



「食育」とは文字通り、「食」を通じて食べることの大切さと健康な心と体を育むことで、国をあげての取り組みです。とりせんでは未来を担う子どもたちに野菜・果物を食べる大切さ、楽しさを理解してもらい、正しい食生活を形成して、心と身体の健康づくりに役立ててほしい、そんな思いから食育活動に取り組んでいます。

食育体験学習

野菜や果物についての知識や理解を深めてもらうための体験学習として小学生を対象としたプログラム「5ADAY食育体験ツアー」、園児を対象としたプログラム「5ADAYたべるのおはなし教室」を実施しています。プログラムには、「お買い物ゲーム（お買い物疑似体験）」や、園児には「野菜果物クイズ」などがあり、大変好評です。「5ADAY食育体験ツアー」や「5ADAYたべるのおはなし教室」は小学校・幼稚園・保育園・児童館を対象に参加を随時募集しております。近くに店舗がない場合はこちらから出向いて実施することも可能です。また新たな取り組みとして始めた「5ADAYスポーツ食育教室」は、地元のスポーツチームの小学生を対象としたプログラムになっており、スポーツをするうえで必要な栄養や、食事の摂り方を学んでもらう内容になっています。



収穫体験

とりせんが販売している採れたての高原レタスやにんじん、商品に加工されるトマトの収穫体験ツアーに親子で参加いただきました。野菜畑で初めての収穫体験に子どもたちは元気いっぱい、大喜びの笑顔を見せてくれました。



工場見学

食品工場へ行く各工場見学ツアーを実施しています。製造ラインの見学や出来立て商品の試食、自分で作る体験などを通じて、製品作りへのこだわりや厳しい品質管理体制などを親子で楽しみながら学んでいただきました。



料理教室

クリスマスケーキや餃子作りなどの親子料理教室を実施しています。料理教室を通じて、食の大切さや作る楽しさを学んでいただきました。



店内イベント

店舗の空きスペースやお客様休憩所の広い店舗を利用して食育イベントを実施しています。所要時間が約1時間という短い時間ですが、食育教室や簡単な料理教室、コーヒーの淹れ方教室など体験を交えながら学んでいただいています。



自然災害被災地への支援

国内外で発生した大規模な自然災害の被災地支援として、店頭での募金活動等を実施しています。足利市内、みどり市内で発生した山火事の際には、緊急支援物資を寄付しました。



医療従事者への支援

新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療従事者にお役立ていただくため、群馬県に500万円の寄付を行いました。



いばらきの森林づくり活動「森林ボランティア養成講座」に参加しました

レジ袋の無料配布を中止している茨城県内店舗のレジ袋販売収益金を地域の森林整備等の推進活動に役立てていただくよう、2009年より毎年、公益社団法人茨城県森林・林業協会に寄付しています。この寄付活動をきっかけとし、「森林ボランティア養成講座」にも参加しています。



公益財団法人 尾瀬保護財団への寄付

とりせんは、尾瀬の環境保全に役立てていただくよう、毎年、公益財団法人 尾瀬保護財団に寄付をしております。弊社と群馬県が締結した「地域活性化包括連携協定」を契機として、美しい尾瀬の自然環境保護の一助になりたいとの思いから実施しています。



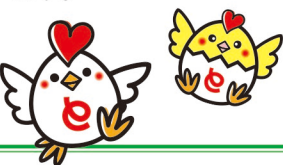
NHK歳末たすけあい募金

お客様よりお預かりした募金を、当社及び当社従業員の募金を添えて、2022年1月に群馬県共同募金会を通じて、各県の共同募金会へ総額60万円を寄付しました。1998年の会社創立50周年事業としてNHK歳末たすけあい募金活動を開始し、今回で25年の活動実績、これまでの募金総額13,001,451円となりました。



自治体との連携

とりせん創業の地である館林市と魅力あふれるまちづくりを協働で推進する「地方創生に係る包括連携協定」を締結しています。



子育て家庭・高齢者支援カード事業に協賛

地域の子育て家庭や高齢者支援として各県の優待カード事業にとりせん全店舗が登録・協賛しています。

カード提示特典 毎週木曜日、税込価格1,000円以上お買い上げのお客様で地域支援カードをご精算時にご提示していただくと小計金額から5%割引致します。 ※一部、割引対象外となる商品がございます。※他の割引券との併用はできません。※テナントレジのご利用はできません。

利用対象カード ※カードの発行・利用等に関しては、お住まいの市町村窓口へお問い合わせください。



産学連携の取組み

群馬県内の商業高校の生徒さんが地元食材の使用や、地域に永く愛されている味をモチーフに商品開発を行っています。また、栃木農業高校の生徒さんが育てた「とちぎ和牛」の即売会を実施しました。

群馬県内商業高校との商品開発



栃木農業高等学校との和牛即売会



高崎健康福祉大学との「栄養バランス弁当」の共同開発

店舗でのお客様へのアンケート調査をもとに、健康と栄養のバランス、そして美味しさを考えて開発しました。



- 1994---牛乳パック・食品トレー・ペットボトルの店頭回収を開始 節水システムの導入
- 1995---館林市と「災害救助に必要な物資の調達に関する協定書」を締結
- 1998---創立50周年記念環境問題シンポジウム開催、リサイクル協会会長賞受賞 NHK歳末たすけあい募金 協力活動開始、節水システムの全店舗導入完了 大雨災害義援金を白河市、西郷村、日本赤十字社へ寄付
- 1999---発泡スチロールの自社処理を開始 大泉町と「災害救助に必要な物資の調達に関する協定」を締結
- 2001---再生ゴミ袋の導入使用開始、レジ袋の肉薄化軽量タイプを全店へ導入
- 2002---ポリオレフィン系ラップの導入開始・環境活動レポート発刊開始
- 2003---新物流センター稼働による一括配送開始
- 2004---食品資源物の堆肥化リサイクルを12店舗で開始 ESCO事業によるCO2削減への取組み開始
- 2005---5ADAY 食育活動開始、雑誌の分別リサイクル開始 食品資源物の堆肥化リサイクルを20店舗に拡大 収穫体験ツアー開始、小学生食育体験ツアー開始 オール電化の店舗、茂呂店(群馬県伊勢崎市)をオープン
- 2006---レジ袋削減のためのマイバスケット販売を全店で開始 食品資源物の堆肥化リサイクルを30店舗に拡大
- 2007---使用済みレジ袋、アルミ缶の店頭回収リサイクルを開始 ESCO事業によるCO2削減の2004年度分の証明書拝領 ペットボトルの店頭回収リサイクルを38店舗に拡大 食品資源物の堆肥化リサイクルを36店舗に拡大 茨城県筑西市と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結 太陽光発電システムを設置した城西の杜店(群馬県太田市)をオープン
- 2008---CO2削減のための環境ダイエツト運動を開始 食品資源物の堆肥化リサイクルを39店舗に拡大 [群馬県環境GS]への参加、9月より研究学園にて「レジ袋無料配布中止」 10月よりチーム・マイナス6%へ参加 高根沢町と「災害時における物資の供給に関する協定」を締結
- 2009---2月より下妻店・木田余店にて「レジ袋無料配布中止」 一部店舗にてエコキャップの店頭回収を開始 3月より群馬県の食品の適正表示推進事業所として26店舗を登録 9月より11事業所にて「エコアクション21」の認証取得 創立60周年記念事業「従業員募金活動」で集まった募金を尾瀬保護財団へ寄付 茨城県緑化推進機構(緑の募金)へレジ袋販売収益金を寄付 館林市へ城沼遊歩道「朝陽の小径」整備として寄付
- 2010---店頭回収したエコキャップの売却益をNPO法人「世界の子どもにワクチン」に日本委員会へ寄付 全店舗で「エコアクション21」の認証取得、いばらきの森林づくり活動に参加 ハリアフリー新法の「計画の認定」、群馬県ひとにやさしい福祉のまちづくり条例の適合を受けた菅谷店(群馬県高崎市)がオープン
- 2011---6月1日より城西の杜店において店頭古紙回収を開始
- 2012---4月より岡本店など16店舗で古紙・ペットボトルの回収を開始 7月より一部店舗で古着回収を開始、10月より一部店舗で段ボールの回収を開始
- 2013---2月より段ボールの全店本社回収を開始 12月26日群馬県と地域活性化包括連携協定を締結 創業100周年を記念して館林市内の幼稚園・保育園・小学校・中学校など全40施設に1,389冊の図書を寄贈 高崎健康福祉大学との共同開発「30品目の栄養バランス弁当」発売
- 2014---2月より子育て家庭・高齢者支援カード事業への協賛開始 平成26年度全国社会福祉大会において、長年赤い羽根共同募金に貢献したことから「中央共同募金会会長賞」を受賞 群馬県の食育に貢献したことから「食育推進活動優良表彰」を受賞
- 2015---食品資源物の堆肥化リサイクルを44店舗に拡大 太田八幡町店は群馬県防犯協会に協力し、情報発信機能付き自動販売機を設置 台風18号等による大雨災害の被災地に支援物資及び義援金を寄託 群馬県内商業高校2校との共同開発商品発売
- 2016---7月より電子マネーカード開始、食品資源物の堆肥化リサイクルを46店舗に拡大
- 2017---宅配便ロッカーの設置、ビニール資源の分別回収開始 九州北部豪雨に際して、全店で義援金募金を実施し、日本赤十字社に寄託 渋川市社会福祉協議会が主催する高齢者支援の取組み「あいのり事業」に、渋川店が協力
- 2018---本社・富士見町店に太陽光パネル設置 館林市と地方創生に係る包括連携協定を締結 富士見町店で熱中症予防声掛け陣式開催 西日本豪雨災害に際して全店で義援金募金を実施し、日本赤十字社に寄託
- 2019---館林市健康寿命延伸シンポジウム出席 台風19号災害義援金を寄託 栃木農業高校との和牛即売会実施 太田新井店・太田八幡町店に太陽光パネル設置
- 2020---館林市へ防護服等を寄付 館林市内店舗で牛乳応援キャンペーンを実施
- 2021---新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療従事者への寄付を群馬県に寄託 足利市内で発生した山火事の際に、足利市へ救援物資を寄託 移動スーパー「とくし丸」事業スタート(2021年3月黒磯店にて1号車出発式) 足利市内、みどり市内の山林火災で救援物資を寄託 館林地区消防組合と「災害時における食料・物資の供給等に関する協定」を締結 栃木市と「災害時等における施設の提供に関する協定」を締結 群馬県警察本部と「地域見守り活動に関する協定」を締結
- 2022---創業110周年
- 2023---令和4年度「SDGsくんまビジネスプラクティス」に選定

寄付・募金活動実績

2022年 ウクライナ人道危機救援金募金	1,000,000円
緑の募金(茨城レジ袋販売収益金)	269,522円
日赤活動資金(22年4月~22年9月分)	200,000円
NHK歳末たすけあい募金	600,000円
尾瀬の環境保全(10回目)	100,000円
2023年 トルコ・シリア地震救援金募金	600,000円
日赤活動資金(22年10月~23年3月分)	121,992円

物品寄贈	館林市(創業110周年として館林市内40施設)	図書カード245万円分
------	-------------------------	-------------

社内チェッカーコンクール

お客様への接客レベルの向上、チェッカー部門のチェックアウト業務の向上を目的として、社内チェッカーコンクールを実施しています。様々なシーン(子連れ、妊婦、お年寄り、お怪我をされている方、車いすの方等)への対応力向上に役立っています。



社員教育

お客様に気持ち良くお買物をしていただくために～社員教育に力を入れています～
お買物環境の向上＝職場環境の向上

《新入社員研修》

入社時に合宿研修を実施します。目的は『学生から社会人への切り替え』です。社会人として、そしてとりせんで働く上で欠かせない、時間管理やチームとしての在り方を経験を通じて学ぶカリキュラムになっています。当社の教育は『体験学習』。体験から様々なことを学び、今後に役立てていきます。



《POSレジ訓練》

合宿研修が終わると、丸一日レジ訓練を実施します。正しいお辞儀の角度や、気持ちの良い挨拶、3分咲・5分咲・8分咲の笑顔など、お客様が『とりせんで買物してよかった』と思っただけのよう、新入社員の段階で、徹底した接客の在り方を学びます。



とりせんジュニアカレッジ(TJC)

とりせんジュニアカレッジとは、若手社員を対象とした、3月～10月までの間、毎月1回実施するキャリアアップ研修会です。始まったきっかけは、当社の会長が、日々の業務が忙しい中、個人で時間を割いて勉強するのは困難だろうということで、会社が時間を設けて勉強する場を提供しようというのが始まりです。毎回の講義では、各部門の基礎知識の習得を目指し、学習する癖付け、「問題解決能力」を養います。他にも「接客」「エコアクション」など、スーパーマーケットで働く者として必要な知識を得るために励んでいます。このTJCという研修会は、今後のとりせん人生のなかで骨格となる勉強会です。

3.5.7年振り返り研修会

入社後3年・5年・7年経過した社員向けに行う研修会です。過去の自分を振り返り、自己分析、他者からのフィードバックや客観的なデータを元に自己を理解し、今後の将来へのビジョンを明確にします。



その他の研修会

階層別研修会

社外セミナー

とりせんチャレンジ講座(通信教育)

ワーク・ライフ・バランスの実現

従業員が持っている能力を十分に発揮してもらうためには、職場環境が一番重要になってきます。そこで、当社は、仕事と生活の両面でバランスのとれたライフスタイルを実現できるよう、さまざまな制度や取り組みを実施しています。その中でも、当社が、特に力を入れているのは、次世代育成支援対策推進法に基づく、仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備を進めています。

次世代育成支援対策推進法とは、次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的として制定された法律です。

とりせんの主な制度

復職エントリー制度

配偶者
出産休暇

半日有給休暇
制度

育児休業制度
※産後パパ育休含む

介護休業
制度

当社の制度の中で、特徴的なものとして、「復職エントリー制度」があります。これは、結婚、出産、育児により、退職した従業員が、退職することになった理由が解消され、働けるようになったとき、当社で、再び働ける制度です。この制度の導入により、安心して退職でき、育児等に専念できる、と好評です。

また、このような取り組みが評価され、群馬県より、「群馬県いきいきGカンパニー」に認証されました。

「群馬県いきいきGカンパニー」とは就業規則等の社内規則に「育児・介護休業法」に沿った内容を規定し、仕事と育児等家庭の両立支援の取り組みを宣言するなど、一定の認定条件を満たしている企業について「群馬県いきいきGカンパニー」として認定されます。

今後も、さらなるワーク・ライフ・バランスの実現のために、働きやすい職場環境づくりに力を入れていきます。



会社概要(2023年2月現在)



社名 株式会社とりせん
本社 〒374-8512
群馬県館林市下早川田町700番地
TEL 0276-74-2121
FAX 0276-75-0874
URL <https://www.torisen.co.jp>
資本金 10億4300万円
事業所 店舗数61店舗、館林物流センター
従業員数 正社員909名
パート・アルバイト2,944名(8時間換算)
事業内容 スーパーマーケット

